



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

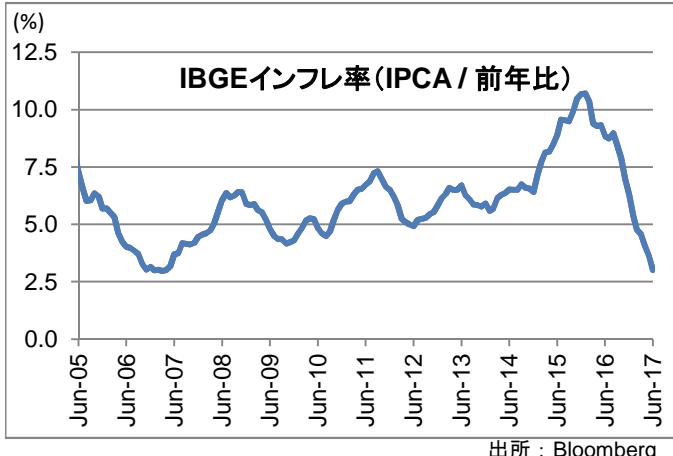
			7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3020	3.3100	3.2890	3.2980	3.2810	-0.0170
	BRL/JPY	Spot	34.36	34.23	34.43	34.32	34.72	+0.40
	EUR/USD	Spot	1.1364	1.1346	1.1351	1.1423	1.1401	-0.0022
	USD/JPY	Spot	113.44	113.28	113.26	113.18	113.92	+0.74
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	8.82	8.81	8.79	8.78	8.76	-0.0285
	Future	1Year(p.a.)	8.65	8.63	8.59	8.60	8.61	+0.0168
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.252	2.108	2.105	2.053	2.047	-0.006
	USD	1Year(p.a.)	2.396	2.290	2.296	2.270	2.285	+0.015
株式	Bovespa指數		63,279.58	63,231.59	63,154.17	62,470.33	62,322.40	-147.93
CDS	CDS Brazil 5y		241.42	241.57	242.23	244.78	242.36	-2.42
商品	CRB指數		176.156	176.156	173.653	174.428	172.56	-1.868

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは週末にかけて3.27台前半まで上昇。
- 週初のレアルは3.3100で寄り付いた。先週末、6月初めに收賄容疑で逮捕されたテメル大統領の元側近議員が保釈された。新たな司法取引による政治混乱のリスクが低下したとの見方から週前半のレアルは底堅く推移した。その後、6月の米FOMC議事録公表を控え、バランスシート縮小に関してタカ派な内容が出るとの警戒感から新興国通貨が下落。週間安値の3.3300まで売られたが、伯上院議会で労働法改正案の審議に進展が見られることや、公表されたFOMC議事録に目新しい材料が見られなかったことで3.2900まで戻しが進行した。週末にかけてはFRBが半期に一度の金融政策報告書を議会に提出。引き続きバランスシート縮小開始の具体的な時期は示されず、レアルは週間高値3.2720まで上昇。結局3.2810で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.39%で据え置き、2018年は2.10%から2.00%へ下方修正された。インフレ率予想は2017年が3.48%から3.46%へ、2018年は4.30%から4.25%へそれぞれ下方修正された。
- 4日夜、上院議会は労働法改正案の採決を早期に行うため、同法案を優先して審議するとの動議を賛成46票、反対19票で可決した。同改正案は来週11日に本会議で採決が行われ、可決される可能性が高いものと見られている。
- 下院議会の憲法法務委員会(CCJ)は4日、テメル大統領の收賄容疑に関する審議の報告官として、大統領と同じ伯民主運動党(PMDB)に所属する議員を選出した。CCJは来週中に審議を終え、投票を実施する可能性がある。
- 4日に発表された5月の伯鉱工業生産は前月比+0.8%と予想の+0.6%を上回り、前回の4月分も+0.6%から+1.1%に上方修正された。資本財や耐久消費財の分野で高い伸びが見られ、緩やかな経済の回復を裏付ける内容となつた。
- 7日に発表された6月の米雇用統計は非農業部門の雇用者数の増加が予想を上回る一方、平均時給の伸びは予想を下回った。強弱が入り混じる内容となり、市場の反応は限られた。

## 3.今週のチャート&amp;ハイライト



## 6月の伯インフレ率は前月比マイナスの水準へ低下

7日に発表された6月の伯インフレ率(IPCA)は予想をやや下回った。前月比で▲0.23%と約11年振りにマイナスの水準となったほか、前年比では+3.00%と伯中銀・財務省が設定するインフレ目標レンジ(3.0%–6.0%)の下限まで低下。農作物やガソリン、電気代などが低下を主導した。金利先物市場が織り込む次回COPOM(7月25、26日開催)での利下げ幅は7日時点で約0.94%の水準。経済改革の先行きが不確実なことから、伯中銀は利下げ幅を0.75%に縮小するとの見方が高まっていたが、インフレの低下を受けて1.00%の幅を維持するとの予想が強まっている。



#### 4.来週の為替市場注目点

##### 予想 ドル・レアル相場レンジ：3.25—3.35

来週のレアルは軟調な動きを予想する。テメル大統領の収賄容疑を巡る下院議会での採決の行方が不透明なことに加え、大統領に対する追加の起訴が行われる可能性も残る状況。更なる年金改革審議遅延への警戒感は依然として強く、引き続きレアルは売られやすい状況を見込む。労働法改正案については11日に上院本会議で採決実施と見られるが、最終的に可決されるとの見方が強い中、結果を受けた市場の反応は限定的と予想する。

米国サイドでは12日にイエレンFRB議長の議会証言が予定されており、追加利上げやバランスシート縮小に関する発言に注目したい。

#### 5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGVインフレ率IGP-DI(前月比)	-0.70%	-0.96%	-0.51%
ブラジル	FGVインフレ率IGP-DI(前年比)	-1.24%	-1.51%	1.07%
ブラジル	IBGEインフレIPCA(前月比)	-0.19%	-0.23%	0.31%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA(前年比)	3.05%	3.00%	3.60%
米	非農業部門雇用者数変化	178k	222k	138k
米	失業率	4.3%	4.4%	4.3%
米	平均時給(前月比)	0.3%	0.2%	0.2%
米	労働参加率	62.7%	62.8%	62.7%

#### 6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	7/10	FGV CPI IPC-S	Jul/07	-0.19%	-0.32%
ブラジル	7/10	貿易収支(週次)	Jul/09	--	\$7195m
ブラジル	7/11	IGP-M Inflation 1st Preview	Jul	-0.63%	-0.51%
米	7/11	卸売在庫(前月比)	May	0.3%	0.3%
ブラジル	7/12	FIPE CPI-週次	Jul/07	0.02%	0.04%
ブラジル	7/12	小売売上高(前月比)	May	0.4%	1.0%
ブラジル	7/12	広義小売売上高(前月比)	May	0.6%	1.5%
ブラジル	7/13	IBGEサービス部門売上高 前年比	May	-1.8%	-5.6%
米	7/13	PPI 最終需要(前月比)	Jun	0.0%	0.0%
ブラジル	7/14	経済活動(前月比)	May	0.50%	0.28%
米	7/14	消費者物価指数(前月比)	Jun	0.1%	-0.1%
米	7/14	小売売上高速報(前月比)	Jun	0.1%	-0.3%
米	7/14	鉱工業生産(前月比)	Jun	0.3%	0.0%
米	7/14	ミシガン大学消費者マインド	Jul	95.0	95.1
米	7/14	企業在庫	May	0.3%	-0.2%